

「岩手県の健康づくりの推進に向けた連携に関する覚書」の締結について

【要旨】

県では、平成26年3月に「健康いわて21プラン（第2次）」を策定し、多様な主体との連携による健康づくりの取組を推進していくこととしており、特に中高年などの「働き盛りの世代」を対象とした健康づくりにおいては、医療保険者や事業所等との連携を図っていくことが必要であると考えている。

このような中、県内最大の医療保険者である協会けんぽ岩手支部（加入者40万人）から、県と連携して県民の健康づくりを推進したい旨の要請があり、県と支部との間で覚書を締結し、取組を進めることとしましたので、県民の皆様にごくお知らせします。

1 覚書の目的

県と協会けんぽ岩手支部が連携し、「健康いわて21プラン（第2次）」などで掲げた取組を行うことを通じて、県民が健康でいきいきと暮らすことができる「いわて」の実現を図ることを目的とする。

2 連携事項

- 生活習慣病の発症予防と重症化予防に関すること
- 特定健診やがん検診の受診促進並びにその実施結果の分析等に関すること
- 医療費情報の活用による保健事業の充実に関すること 等

3 覚書の締結式

（1）日時

平成26年3月27日（木） 9：30～9：45

（2）場所

県庁3階第1応接室

（3）締結者

- ・ 岩手県知事 達増 拓也
- ・ 協会けんぽ岩手支部長 松本 光一（マツモト コウイチ）